

法人名 特定非営利活動法人 北本市観光協会
事業計画書

事業名	きたもと森林セラピー体験・シンポジウム事業 ※簡潔で分かりやすい名称を付けてください。
種類	(1)SDGs 推進事業(人間 豊かさ 地球 平和 パートナシップ) (2)自立促進事業(人間 豊かさ 地球 平和 パートナシップ)
1. 事業の目的	<p>① 森林セラピーについて 森林セラピーとは、森林環境を利用して、心身の健康維持・増進、病気予防を行うことを目指した科学的根拠に裏付けされた森林浴です。具体的には、森林の中に身を置き、森林の地形を利用した歩行や運動、森林内レクリエーションを行い、さらに、栄養、ライフスタイル指導等を受けることで、目的を達成しようとするものです。「一歩進んだ森林浴」と言われています。森林セラピーの認定機関「森林セラピーソサエティ」が科学的検証を行い、森林浴効果が実証されると、セラピー基地として認定されます。全国には、60か所以上がセラピー基地として認定されており、埼玉県では北本市のみが認定されています。 森林セラピーWEB サイト : https://www.fo-society.jp/</p> <p>② きたもと森林セラピーについて 北本市では、市内にある豊かな自然環境の保全利活用を目的に、令和元年に森林セラピー基地の認定を取得しました。県営である北本自然観察公園に2つの「セラピーロード」拠点施設としてサンアメニティ北本キャンプフィールドがあり、都心から1時間程度で気軽に足を運べる都市型セラピー基地として、様々なツアーを開催しています。 きたもと森林セラピーWEB サイト : http://kitamoto-forest-therapy.com/</p> <p>③ 事業の目的について 北本森林セラピーでは、様々な方法を通して自然に触れ合い、自然への理解を深めていきます。自然公園の中を歩きながら、豊かな動植物を観察し、匂いなども含め五感を通して自然を感じていきます。また、お昼には「セラピー弁当」として、地元の野菜をたっぷり使ったランチを提供しています。ツアーと組み合わせたキャンプ場でのBBQ等でも、地場産野菜の提供を行い、農産物の利活用促進プロモーションも併せて行っています。また、ツアーの一環として、自然素材を活用したクラフト体験や野菜の収穫体験を組み合わせた企画を実施しています。これらの取組みを通して、身近な自然へ触れ合う機会の創出と自然保全意識の啓発を行っています。また、自然を通じた具体的なリフレッシュ効果が、より多くの人に認知されることで、森林を守り育てる「森林保全」への取組みへ繋がると考えています。</p>

	<p>上記の様な、森林セラピー事業に伴う複合的な目的の下に、令和元年度より様々な取り組みを行っておりますが、セラピー基地認定後すぐにコロナ禍へと入ってしまったこともあり、参加者や参加団体が中々広がらずに、プロモーション面及び集客面で苦戦を強いられています。また、北本市では市内の雑木林もセラピー基地としての認定を受けていますが、個人所有の雑木林が多いため、その面積は近年著しく減少しており、宅地化が進んでいます。本事業では、セラピー事業のプロモーション並びに自然環境保全意識の啓発を目的に、森林セラピーの効果を多角的に議論するシンポジウム及び体験ツアーを開催します。対象は、一般参加者はもちろんですが、近年ニーズが増えている、企業の福利厚生担当者並びに人事担当者、福祉事業の関係者や障害団体の方などを想定しています。シンポジウムを通して森林セラピー事業の効果を多角的に伝え、体験ツアーで実際にプランニングを行うことで、企業や団体の方の利用促進を図ります。企業や団体の利用促進を図ることで、自主事業費の獲得に繋がり、自立的な運営に繋げていくことも本事業の重要な目的だと考えています。事業を通して、企業と森林や自然とのつながりや利活用についても検討を行っていきます。</p>
<p>2. 事業の内容</p>	<p>『森林セラピーデイ in 北本～&green みどりを育てる一日～（仮称）』</p> <p>体験ツアーやシンポジウムなどのイベントを通し、身近な自然環境の保全及び利活用方法を、多面的に検討並びにプロモーションを行います。（2023年9月10日の土・日・祝を予定）</p> <p>(1) 北本森林セラピー体験ツアーの実施</p> <p>県営の自然公園「北本自然観察公園」にて、森林セラピーを気軽に体験できるお試しツアーを開催します。ツアー参加者には事後にアンケートを行い、事業改善や今後の利用に繋げていきます。</p> <p>《ツアー案》</p> <p>時間：9時～12時 参加人数：30名程度 会場：北本自然観察公園 料金：無料</p> <p>(2) シンポジウムの開催</p> <p>森林セラピーの拠点施設「サンアメニティ北本キャンプフィールド」を会場にシンポジウムを開催します。シンポジウムでは、森林サービス産業や森林保全の取り組みに造詣が深い方をお登壇者としてお招きします。地域に残る身近な自然環境の多面的な利活用方法や保全方法を、事例発表やパネルトークを通して検討していきます。また、企業と森林保全をテーマとして、登壇者には企業の方もお招きをしていきます。シンポジウムを通して、セラピー事業の効果・有用性を広くプロモーションしていき、今後の利用に繋げていきます。参加者に対するアンケートも実施します。</p>

	<p>《シンポジウム案》</p> <p>時間：14時～16時 参加人数：40名 会場：サンアメニティ北本キャンプフィールド多目的ホール 参加費：無料</p> <p>登壇者：森林研究・整備機構森林総合研究所 高山範理氏 他数名を予定</p> <p>(3) セラピーコンテンツ体験会の実施</p> <p>サンアメニティ北本キャンプフィールドを会場に、クラフト体験や火おこし体験など、自然にまつわるワークショップを開催します。</p>
--	--

3. 実施計画	<p>○スケジュール</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 15%;">時期</th> <th></th> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>計画策定・調整</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>広報の実施</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>イベントの実施</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>イベントの実施</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>アンケートの集計・事業報告</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>事業報告</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td></td> </tr> </table> <p>○広報計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 北本市観光協会 WEB サイトへの掲載 2. チラシの作成と配布 <p>仕様案：A4 サイズ、両面、1000部、</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 案内文やチラシの送付 <p>企業及び関係者に DM を想定（100通）</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. プレスリリース 	時期		7月	計画策定・調整	8月	広報の実施	9月	イベントの実施	10月	イベントの実施	11月	アンケートの集計・事業報告	12月	事業報告	1月		2月	
時期																			
7月	計画策定・調整																		
8月	広報の実施																		
9月	イベントの実施																		
10月	イベントの実施																		
11月	アンケートの集計・事業報告																		
12月	事業報告																		
1月																			
2月																			
4. 実施体制	<p>総括責任者：北本市観光協会事務局長 小松政毅</p> <p>連絡責任者及び現場責任者：北本市観光協会 岡野高志</p> <p>事業担当者：北本市観光協会 大塚貴子</p>																		
5. 事業の効果	<p>北本市の森林セラピーは、都心から1時間程度で気軽に足を運べる都市型セラピー基地です。事業を行うことで、まだ訪れたことが無い方の来訪機会に繋がると共に身近な自然環境に触れ、体験から理解を深めることで、自然保護意識の向上につながると考えます。また、シンポジウムでの発表や議論を通し、身近な自然が持つ様々な有用性や効果を明らかにすると共に、参加者の自然保護意識・興味関心の増加を図っていきます。近年減少している市内雑木林にも着目し事業を行うことで、市内雑木林の価値を再認識し、雑木林の保全・利活用の促進にも繋げていきます。</p> <p>加えて、事業ターゲットの一つを企業や団体へと絞ることで、事業を通して担当者との顔の見える関係性を構築し、今後の北本森林セラピー事業の利用促進へとつなげていきます。利用促進による自主財源の獲得も重要な効果として事業を進めていきます。</p>																		

<p>6. 今後どのように事業を継続し発展させるか ※自立促進事業のみ</p>	<p>一般の方はもちろんですが、参加企業や団体に対して営業活動を行い、実際の利用へとつなげていきます。利用増加に伴う収益は持続的な北本森林セラピー基地の運営へと活用していきます。また、収益の増加は自立的な運営だけでなく、ガイドボランティアの更なる育成や、フィールド整備など自然保全活動の実施、福祉団体などへの無料ツアーの実施など、収益を地域や自然環境に還元する自立的な事業モデルの構築を目指していきます。</p>
---	--

◎応募の際に本予算書で計上しなかった経費項目は、事業実施時に支出が生じたとしても対象経費とはなりません。

法人名 特定非営利活動法人 北本市観光協会

事業収支予算書

1 収入の部

項 目	予算額 (円)	積算内訳
助成希望額 (千円未満切り捨て)	456,000	
自己資金	800	
事業実施による収入等		
その他		
合 計	456,800	㊤

2 支出の部

項 目	予算額 (円)	積算内訳
会場費	21,800	イベント会場使用料 多目的ホール 6,000 円、体験学習室 2,500 円、会議室 1,300 円、キャンプ サイト 12,000 円
通信運搬費	35,000	郵便代 100 通×350 円
旅費交通費		
消耗品費	10,000	コピー紙など
備品費		
委託費	150,000	ビジュアル作成及びチラシ印刷費
謝金	200,000	シンポジウム講師謝金 50,000 円×4 名
人件費	40,000	森林セラピーガイド 4,000 円×10 名
その他		
合 計 (事業費)	456,800	㊦

収入の部の合計 (㊤) = 支出の部の合計 (㊦)